

衣笠

第492号
June.2024
2024年6月1日発行



わたしの兄弟である
この最も小さい者の一人にしたのは
わたしにしてくれたことなのである

マタイによる福音書 25章40節



社会福祉法人
日本医療伝道会
衣笠病院グループ
Japan Medical Mission
<https://www.kinugasa.or.jp>



衣笠病院グループに 期待すること

衣笠病院グループ評議員 秋山 みつえ

5年間という長い閉塞感の中で過ごしたコロナ禍。2024年新年に発生した能登半島地震。今は在宅者となった私も、毎日のように繰り返される悲観的で抑圧的な情報に打ちのめされている状況でした。そんな過酷なヒューマンサービス分野の現場では、人手不足が悪循環となって立ちゆかなくなっているという報道が絶え間なく流されました。以前より、財源を含め「2025年問題」として「介護」の需要と供給のアンバランスについて重点課題として取り上げ、検討されてきました。

私事ですが、最後の団塊世代として私も本年末には「後期高齢者」となります。40年以上病院での医療に携わり生きがいを感じてきました。私の人生としての役割として老人だからできる社会貢献を考えました。既に始動しているのですが「老人会への参加」、「登下校児童の見守り・声掛け」「ママ・パパ世代との交流」等々現役時代には関われなかったことに興味を持って、楽しく「おせっかいおばさん」をしています。「健康寿命を延ばそう」という事がこの事なんだ、と近頃気づきました。

衣笠病院グループは、先進的な福祉行政市として全国的に認知されている横須賀という地にあるブランド企業です。その強みを生かし、衣笠病院グループの基本理念である「保健・医療・福祉の一体的連携」を更に一步前進させ、行政や他の関連機関に積極的にアプローチし、横須賀市及びグループの中心的課題である「人口確保」、「人材確保」に繋げていくことを期待します。

- ～熱中症の予防 2024～
衣笠病院 副病院長 岩田 啓吾
- 健康管理センターにできること
健康管理センター 所長 武井 豊
ボランティア講座のご案内
- 無料低額診療事業をご存知ですか
衣笠病院 医療福祉相談室 主任 湯原 裕子
衣笠病院グループ院内学会報告
長瀬ケアセンター 所長補佐 九鬼 貴紀
- 「衣笠病院グループ歴史館」①
法人監事 阿部 誠
今月の聖句
衣笠ろうけん 事務課長補佐 森田 兼行
- 新入職員紹介
定年退職者
- 能登半島地震被災者
介護支援プロジェクトに参加して
衣笠ろうけん 介護課主任 中村 靖
管理栄養士がおすすめする
マグロのステーキ薬膳スタミナソース
衣笠ホーム 管理栄養士 松宮 さきく
- ケアマネジャーのケアマネ子さん
聞いてもいいですか？
訃報
編集後記

プロフィール

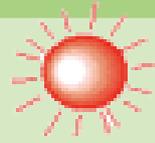
静岡県出身
静岡済生会病院附属高等看護学院・神奈川大学第二法学部法律学科卒業
横浜市民病院、横浜港湾病院、横浜労災病院、横浜市立大学医学部附属病院を
経て茅ヶ崎市立病院看護部長
2010年4月から衣笠病院看護部長
2011年12月から社会福祉法人 日本医療伝道会 評議員
2012年6月から衣笠病院副病院長を兼務
2019年12月退職。現：日本医療伝道会衣笠病院グループ評議員。



4月2日 ホスピスお花見 コロナ禍から5年ぶりに

衣笠病院 副院長 岩田 啓吾 先生に聞きました

～熱中症の予防2024～



熱中症が起こるメカニズム

身体の中では熱産生と熱発散のバランスがとれています。このバランスが崩れたときに熱中症が起こります。気温の上昇に伴い発症のリスクが高まってきますが、気温は高くなくても湿度が高い状況では、汗による熱発散ができず室内外問わず発症します。

2019年の集計では救急搬送された症例数のトップは『自宅』でした。(43.4%)

症 状

- 軽 症：めまい、立ち眩み、足のつり
中等症：頭痛、吐き気、倦怠感
重 症：40℃以上など高体温、意識低下、けいれん発作

予防の要点

- (1) 食事以外に、水分を1日最低1リットルほど摂取する習慣を持つ。
- (2) 発汗によって失った水分と塩分の補給をこまめに行う。スポーツドリンクなど塩分と糖分を含んだ飲料水も可。経口補水液は最も早く吸収され有効。
- (3) 塩分の補給には味噌汁やスープなど、塩気の感じられるものが体液の成分と近く最適。水だけでは体内の塩分濃度が薄まるうえに、身体がそれに反応し塩分濃度を元に戻すためオシッコを増やし、結果的に脱水となることもあり。
- (4) 屋外では、帽子、日傘を使用、携帯ファンも効果的。また定期的にエアコンの効いた場所で休憩し体温を十分に下げる。



- (5) 活動場所の環境を整える。日射を防ぐ、通風を確保する、扇風機を作業方向に向ける、スポット冷房する、作業服の内部へ送風する、冷却剤を利用するなど工夫を。首元やおでこ、また手のひらを冷やすことは効率的に深部体温を下げる。



- (6) 高齢者の留意点：めまいや食欲不振などで来院する降圧剤服用高齢者で腎機能が急激に悪化している場合過降圧のこともあり。高齢者は食べられていない時や下痢しているときでも薬だけは飲み、脱水から腎不全になっていることがある。また、「水を飲みなさい」と言われると、がんばって水を飲んで、塩分不足から低ナトリウム血症になっていることもある。

- (7) ゴールデンウイーク頃からの気温上昇に、徐々に身体を慣らしていくことが夏に向けて大切。これを「暑熱順化」といいます。やや暑い環境で、ややきついと感じるような運動を続けると2週間ほどで獲得できるようです。

- 例：●毎日30分、汗ばむ程度のウォーキング
●ぬるめのお風呂で汗ばむまで入浴

昨今では気温の変動が大きく、慣れるといってもなかなか困難になっています。

あれっ!?!と思ったときにはすでに熱中症になっているかも、と考えてください。





健康管理センターにできること

健康管理センター 所長 武井 豊

衣笠病院健康管理センターは、衣笠病院グループの中核となる衣笠病院に隣接しており、健康診断・人間ドックおよび予防接種などの予防医学業務を担当しています。横須賀市を中心に、三浦市、逗子市、葉山町など近隣の街からも受診者さんをお迎えしております。おかげさまで、2023年度は健康診断が約9000人、人間ドックが約3000人、計約12000人と多くの受診者数を記録することができました。

健康管理センターの特徴としては、健康診断・人間ドックの結果より、再検査、精密検査、治療などの診療を必要とする受診者さんに対しては、すみやかに衣笠病院の各診療科の外来受診調整が可能なことです。衣笠病院において診療対応が困難な場合には、医療連携先の横須賀共済病院、横須賀市立うわまち病院など高次医療機関への紹介を実施しております。また、かかりつけの診療所などに通院中の受診者さんに対しては、地域医療を担う主治医の先生方への情報提供にも適宜対応しておりますので、当センターにて安心して健康診断・人間ドックを受診していただきたいと考えます。

予防接種業務については、10月から1月のインフルエンザワクチン、通年の肺炎球菌ワクチンなどの接種を実施して

います。最近では、带状疱疹ワクチンの重要性が、行政の広報活動や新聞・テレビなどの報道から、一般の方々にも情報が広く伝わるようになり、ワクチンの接種を希望される方が多くなっております。带状疱疹は、幼い子供さんに多く感染する、水ぼうそうと同じウイルスが原因となる皮膚感染症です。成人の90%以上は、带状疱疹の原因となるウイルスがすでに体内に潜伏しており、疲労やストレスなどより、健常者を含む体力・免疫力が低下する時に、ウイルスが体内において活性化して带状疱疹を発症します。50歳以上になると発症率が高くなり、通常は身体の左右どちらか一方のみに、皮膚・体表に沿う神経域に一致し、痛みを伴う赤い発疹と水ぶくれ(水疱)が集まって発症します。80歳までに約3人に1人が発症する带状疱疹は、合併症として、皮膚症状が治癒した後も痛みが長期に続く、带状疱疹後神経痛が大きな問題となります。成人向けの带状疱疹ワクチンは、50歳以上を接種対象者としており、生ワクチンと不活化ワクチンの2種類があります。健康管理センターにおいては、いずれの带状疱疹ワクチンも接種が可能ですが、予約が必要になりますのでよろしくお願ひします。

ここを かたちに

2024年度
ボランティア講座の
ご案内

日程：2024年6月13日(木)・6月14日(金)【全2回】

時間：両日とも 午前9時～12時

場所：衣笠病院(横須賀市小矢部2-23-1)2階講堂

対象：ボランティア活動に関心のある方

講師：衣笠病院グループの医師・看護師・牧師・介護福祉士等

費用：無料

定員：30名

※切：2024年6月10日(月) ☎：046-852-1182(代)

※申込み方法：住所・氏名(ふりがな)・連絡先(電話番号)を『総務課』宛に、お電話もしくはQRコードでお申込みください。



※講座では、「ボランティアの心得」、「高齢や病気になった時のからだところ」等、ボランティア活動に生かせるポイントが学べます。





無料低額診療事業をご存知ですか

衣笠病院 医療福祉相談室 主任 湯原 裕子

当院は“無料低額診療事業”を行う病院です。無料低額診療事業は、治療が必要な状態にもかかわらず、経済的な理由で治療を受けることができない方、病気やけがにより生計困難をきたす恐れのある方を対象に、医療費の一部またはすべてを免除し、安心して医療が受けられるよう相談をしている事業です。今まで何気なく生活していた日常が、病気やけがによって急に生活困窮に陥ることは誰にでも起こりうることです。ご相談はソーシャルワーカーが話を伺い、世帯の収入状況が分かる書類(年金はがきや源泉徴収、通帳のコピー等)を用意頂き、当院の規定に基づいて判断しています。生活が改善されるまでの一時的な措置ではありますので、必要であれば公的制度の紹介などもしています。

この事業には医療費の減額免除だけでなく、様々な活動があります。市役所や児童相談所などとの相談連携、近隣施設

への研修会、地域に向けての無料健康相談、フードバンクへの食品提供、ひとり親への物資支援など、身近で地域に根差した活動も行っています。当院の歴史と共に歩んできた無料低額診療事業。今後さらに発展すべく減免・無料低額診療委員会で検討してします。病気やけががあっても、私たちは毎日生活をしていかなければならないため、日常や仕事を優先してしまいがちです。しかし、何をしても元気があつてこそです。

ご心配がありましたら医療福祉相談室にご相談ください。



私たちにお気軽にご相談ください。



衣笠病院グループ院内学会報告

長瀬ケアセンター 所長補佐 九鬼 貴紀

2024年3月16日ヴェルク横須賀にて2023年度、衣笠病院グループ学会「～結ぶ絆 地域と共に～」が開催され、衣笠病院グループ各施設、部署から8題の発表がありました。発表内容をご紹介します。

複数の部署がそれぞれ連携を取り、地域のニーズに応えられるような活動内容でした。これからも「絆」を大切に、地域に貢献できる衣笠病院グループの未来が見えたように感じられました。



| 発表者 | 発表内容 |
|----------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 衣笠病院附属在宅クリニック | 在宅療養中のがん患者さんが療養場所を選び、住み慣れた地域で安心して過ごすために行った在宅クリニック、緩和ケア医、訪問看護の連携 |
| 衣笠病院栄養科 | 衣笠病院栄養科と門前薬局管理栄養士との連携により栄養相談件数の増加や栄養状態の改善につながった取り組み |
| 衣笠ホーム | 認知症のある人を支える家族や地域住民が気軽に集えるカフェを開設し、入居者家族や地域で介護をしている家族、職員が思いを共有し、繋がりを持てる居場所づくりについて |
| 衣笠ろうけん | 摂食嚥下障害に対応するシステムの構築において、ミールラウンドの導入の取り組み |
| リハビリテーション技術科 | 地域リハビリで活躍するために、スタッフの育成や組織内における役割の再考 |
| 衣笠病院看護部 | 言語聴覚士による喀痰吸引実施に向けたシステム作り |
| 衣病訪問看護ステーション長瀬 | 本人や家族が望む最期を迎えることができるよう、在宅医と病院との連携を取りながら、意思決定支援を行った事例発表 |
| 相談支援センター | 退院支援介入データから見える現状と課題に対する取り組み |

「衣笠病院グループ歴史館」

第1回 衣笠病院の源流

昨年4月より法人にある古い資料を調べさせてもらう機会がありましたので、この衣笠誌上において何回かにわたり衣笠病院の歴史の一部をご紹介します。

衣笠病院は1947年8月1日にデッカー横須賀基米海軍基地司令官の命により横須賀共済病院衣笠分院の運営を日本基督教団が担うことから始まります。第1回理事会会議録メモによりますと、日本基督教団・日本YMCA同盟・日本基督教者医科連盟・地区キリスト教会の代表者が参集し理事会を構成しています。衣笠病院の開設にあたり医療職は基督教者医科連盟の出身者を中心にして構成されていました。

①日本基督教者医科学生連盟の成立

日本YMCA同盟は戦前より毎年夏休みに学生キリスト者を集めて御殿場にある東山荘（研修センター）で夏季学校を開催していました。1936年7月にも全国の大学・専門学校キリスト者学生が集まり、当時は満州事変・日中戦争の暗い軍国主義がはびこる中、平和を求める学生たちは生き方を神に祈り求めていました。その中で医学生グループができて京都大学を中心に全国の医学部の学生が集い、アフリカで黒人に対し医療奉仕をしているアルベルト・シュヴァイツァーの信仰と愛の行為に触発され、自分たちの生き方を真剣に話し合い祈りが生まれました。1939年に京都大学基督教青年会の講堂に全国から30余名の医科系学生が集まり、病める人、虐げられた人々に、医療をもって生涯奉仕しキリストの愛を伝えるために日本基督教者医科学生連盟

が結成されました。発足メンバーとして日野原重明先生（元理事）や松島正雄先生（初代副院長）が参加されています。

②日本基督教者医科学生連盟の活動

1938年7月、連盟結成前のことですが夏期休暇に学生医療班を組織し、戦争で苦しむ中国難民のため、小規模ではありましたが、中支（現在の中国華中地方、揚子江と黄河の間の地帯）で医療奉仕を行いました。翌年1939年7月から9月にかけて24名の学生をもって医療班が組織され中支・蕪湖の県病院跡を借りて中国難民への医療伝道を開始しました。学生たちは経費を得るため先輩や大学同窓に訴え資金を集め、自分の生活を切り詰めて旅費を作り、手弁当の三等船客で医薬品、医療器械を担ぎ、出かけていきました。初めての大陸、戦争に荒らされて不衛生な医療施設での医療活動。キリスト教医療班といっても戦争難民にとっては敵国民です。大きな不安のなか活動開始しました。最初は1日数名の患者しか来ませんでした。学生たちの誠心と優れた医学技術が噂を呼び1ヶ月しないうちに戦争で傷ついた難民の患者が多く集まってきました。2か月に及び医療奉仕によって学生達はキリスト者医療人としての信念を養うことができたのです。彼らは中国民の感謝に送られて、後ろ髪を引かれる思いで蕪湖の町を後にしました。この学生医科連盟の活動のもとに後年日本YMCA同盟の南京の朝天医院の開設があり、日本基督教者医科連盟結成へと続いて行きます。（法人監事 阿部 誠）

今月の聖句

衣笠ろうけん

事務課長補佐 森田 兼行

「神が備えてくださった大切なもの」

「目が見たことのないもの、耳が聞いたことのないもの、

そして、人の心に思い浮かんだことのないもの。

神を愛する者のために、神の備えてくださったものは、みなそうである」

コリント人への手紙 第一 2章9節(新改訳第3版)

AIの急速な発展により、2045年には自律的な人工知能が繰返しの学習により、人間を上回る知性が誕生するという仮説があります。確かにAIの助言に従ってネットで買い物したり、お役所の書類などはAIが作成する試みが始まっています。芸術分野でもAIによる作品制作や、俳優もAIに取って代わる恐れがあるというのです。ある研究者が、「AIは過去の出来事の集積から最適解を速く導くことには秀でている。しかし文明が発展してきたのは、人間の突飛な発想やひらめきから生じたものであり、AIはそういったものは、苦手だ」というのです。ある時人間が鳥を見て空を飛びたいと思いついた。こんな発想はAIから出てこないというのです。

今、日本では財政逼迫の中、この先30年増大する高齢者の医療福祉ニーズに対応するため、人不足を見込んで、生産性を上げる機器の導入やAI技術を用いたケアプラン開発に躍起になっています。確かに使えるものは、大いに活用していくべきだと思います。しかし、聖書が勧める本当に人が大切にされるケアに繋がるかは、とても疑問に思います。私たちは全人医療・全人介護を理念とする組織です。人間という複雑な存在そのものを大切に受け止め、ケアしていくのに、AIはあくまで補助手段であることを自覚していきたいと思っています。最終的に人はお互いの会話・ふれあい・眼差しなど、非常にシンプルなやりとりの中で、ケアの方向性を見出していくのではないかと考えています。神様から委ねられた人間がAIに振り回されることなく、主体的に考え続けることが大切だと思われています。

新入職員紹介 新たに約 20 名が入職！！

衣笠病院 整形外科 医師 伊藤 諒^{まこと}



私自身この地域の出身であり、なじみのある三浦半島、横須賀地域の医療に関わる機会をいただき誠に光栄です。未熟ながら少しでも整形外科医として、地域医療の一役を担えればと考えております。お困りのことがありましたら、ぜひお気軽にご相談ください。何卒よろしくお願いたします。

衣笠病院附属在宅クリニック 医師 山口 展弘



これまで、呼吸器内科医として、大学病院、市中病院で喘息、COPDなど慢性閉塞性疾患や、肺癌などの腫瘍性疾患などの診療に携わってきました。横須賀地域は高齢者が多く、病院受診が困難な方が多数いると思われます。そのような患者様の病状管理を行うだけでなく、患者様の立場にたち、気持ちに寄り添い、適切な医療を提供できるように日々精進してまいります。今後とも宜しくお願い致します。

衣笠病院 看護部 小曾根 彩光

衣笠病院グループの一員として働くにあたり、患者様一人ひとりの個別性に配慮した看護を大切にしていきたいと思っております。また、研修や実際に病棟で先輩方からご教示頂いたことを活かし、優先順位を考えながら効率的、かつ正確にケアを実施できるようになりたいです。そして、明るく笑顔でいることを心掛け、患者様に「来てよかった」と思ってもらえるような看護師を目指し、先輩方のような一人前の看護師になれるよう日々精進して参ります。

衣笠病院 リハビリテーション技術科 新倉 愛美

衣笠病院グループの一員として、社会人としての第一歩を迎えられたことを嬉しく思っております。普段からお世話になっている地域の皆様への感謝の心を忘れず、貢献していきたいと考えています。また、先輩方から多くのことを学び、日々成長できるよう、「自主性」を大切に努めて参ります。

衣笠病院 相談・支援センター 汐津 舞音

これから、衣笠病院理念である「来て良かった」と言ってもらえる病院を作る一員として、ご本人・ご家族・ご利用者様・地域の方々お一人お一人との関わりを丁寧に、また、信頼・安心できるような関わりを心がけていき、支援に携わることができればと考えております。そして、先輩職員の働く姿などから様々なことを学ばせていただき、MSWとして成長することができるよう日々精進していきたいと思っております。

衣笠病院ケアセンター 成瀬 美枝子

若い頃、衣笠ホームで寮母（今でいうケアスタッフ）として夜勤・入浴介助など、介護の現場で働いていました。結婚を機に退職し、その後、ケアマネジャーとして、横須賀市内の居宅介護支援事業所に勤務していましたが、このたび、ご縁があり再び、日本医療伝道会衣笠病院グループに戻ってくることができました。神様の愛と導きによって、この道が備えられたのだと感謝です。私たちケアマネジャーは介護保険のサービスはもちろんですが、その他のサービスや、地域の方の協力を得て、いつまでも自宅でお元気に自分らしく過ごせるようにケアプランをたてていきます。どうか、お気軽にケアセンターにお立ち寄り頂き、悩みや相談をお寄せください。今後とも宜しくお願い致します。

衣笠ホーム 介護課 島田 あゆみ

ユニット型施設での勤務は、衣笠ホームが初めてになります。ユニットがひとつの大家族のようにあたたかい雰囲気であることに、大きな感銘を受けました。ご利用者様・ご家族様と細やかなコミュニケーションをとり、先輩方からご教授をいただきながら、最善な私たちでのケアを行っていただけるよう尽力してまいります。どうぞよろしくお願いたします。



定年を迎えた皆様

あなたの出で立つのも帰るのも 主が見守ってくださるように。
今も、そしてとこしえに。 詩編 121:8

| | | |
|----------|----------|---------------------|
| 勤続 27 年余 | 古田 節子さん | 衣笠病院 看護部 |
| 勤続 24 年余 | 小岩 信子さん | 衣笠病院 看護部 |
| 勤続 16 年余 | 石川 志津子さん | 衣笠病院 看護部 |
| 勤続 16 年余 | 松崎 ひかりさん | 衣笠ケアセンター 居宅介護事業所 |
| 勤続 16 年余 | 榎本 葉子さん | 長瀬ケアセンター 通所介護事業所 |

| | | |
|----------|----------|-------------------|
| 勤続 15 年余 | 早坂 真弓さん | 衣笠ホーム 介護課 |
| 勤続 7 年余 | 和気 春江さん | 衣笠病院 看護部 |
| 勤続 5 年余 | 田嶋 すまこさん | 衣笠病院 相談・支援センター |
| 勤続 4 年余 | 佐藤 容子さん | 衣笠病院 看護部 |
| 勤続 1 年余 | 千葉 由香さん | 衣笠病院 看護部 |



能登半島地震被災者介護支援プロジェクトに参加して

衣笠ろうけん 介護課主任 中村 靖

この度全国老人保健施設協会の派遣介護職員として、4月1日～5日の日程で石川県金沢市にあるいしかわ総合スポーツセンターの1.5次避難所へ介護支援に参加しました。1.5次避難所とはホテルや宿泊施設などの2次避難所、介護施設に移る前の一時的な受け入れ先です。1.5次避難所にいる要介護者は2次避難所へ移る事は難しく、新たな入所施設などの確保が必要であるものの時間がかかっています。そのため介護支援が必要不可欠となっています。私が配置されたサブアリーナには要介護者及び見守りの必要な約50名の方が過ごされており、日勤は8:00～20:00で施設における介護と同じように食事、排泄、入浴の介助がメインで、特にコロナ・インフルエンザ等の感染症の発生には最新の注意を払っていました。生活に必要な物品は一通り揃っており特に不自由がないように見えました。体育館なので少しの音でも響き渡る印象があり、家のような生活感は感じられませんでした。日替わりで職員が入れ替わる状況で、避難所にいる方の次の受け入れ先の施設もなかなか決まらず、さらに対応できる職員が減っており3か月経った今でも課題は山積みのような感じでした。また、避難所では午前午後とも

10人前後のボランティアの方が毎日来られ、避難所の方とお話をしたり館内の散歩に付き添う活動をされていました。私たちは違うアプローチで避難所の方に寄り添う大きな存在であると感じました。

今回伺った金沢の駅前には観光客で溢れていて、被害の大きかった輪島や珠洲と比べても本当に地震があったのかと思うほどの賑わいで、震災も風化しつつあると感じられましたが、風化させないためにも、今後も何かしらの形で継続した支援が考えられたらと思います。



管理栄養士が
おすすめする

マグロのステーキ 薬膳スタミナソース



衣笠ホーム 管理栄養士 松宮 さきく

「夏バテ」は自律神経の乱れにより起こる食欲不振・だるさなど体調不良症状の総称です。暑い時は、クーラーや冷たい飲み物などで逆に体が冷えていることが多く、内臓を温めることが大切です。疲労感を緩和し、免疫力を高める食材を使い、簡単に調理できるメニューを紹介します。マグロは刺身のままで良いですが、火を入れることでより胃を温める効果が増します。



材料 (2人分)

マグロ(刺身用 1冊) …150g 塩・コショウ…少々
A: 生姜すりおろし…1片 にんにくすりおろし…1/2片
酒・みりん・醤油…各大さじ1
万能ねぎ…適宜 オリーブオイル…小さじ1

作り方

1. フライパンにオリーブオイルをしき、塩・コショウしたマグロの表面に焼き色をつける
2. 1をお好みの厚さにスライスし、皿に並べる
3. Aの材料を耐熱皿に入れ、電子レンジで500W・2分加熱する
4. 3の調味料をマグロにかけ、最後に万能ねぎを上から散らす

栄養価 【1人分】

熱量…160kcal たんぱく質…20g 塩分相当量…1.5g

ケアマネジャーのケアマネ子さん 聞いてもいいですか？⑤



介護に迷える羊 メー太
父・母・祖母と暮らす
おばあちゃん子
慌てるとメー！と鳴く



メー代
メー太の祖母



ケアマネ子
鵜田町のケアマネージャー
メー太の隣人(猫)
メー代の担当者

ここは鵜田町3番地のある通り。今日もまた迷える羊の
メー太君がケアマネ子さんの事務所に訪れます。



メー太 「羊が1匹・・・羊が2匹・・・」



マネ子 「あらメー太君お疲れのようですね。どうしたの？」



メー太 「寝不足なんです。ばあちゃんが昼間はウトウト居眠りしていて、夜は別人みたいに動き出すんです。羊を100匹数えても寝てくれません。メ～・・・」



マネ子 「それは大変ね。生活リズムを整えるために通所サービスを利用してはどうかしら？」



メー太 「どんなサービスなんですか？」



マネ子 「大きく分けて通所介護(デイサービス)と通所リハビリテーション(デイケア)に分けられます。送迎・健康チェック・入浴・昼食・おやつ・レクリエーション・機能訓練等のサービスが受けられます。より専門的なリハビリを受けたい人は老人保健施設等に併設しているデイケアを利用すると良いでしょう。様々なニーズに応じて短時間タイプや認知症専門のデイサービスもあるので、ケアマネに相談してくださいね」



メー太 「ばあちゃんはどんなデイサービスなら喜んでくれますかね？」



マネ子 「そうねえ。メー代さんは手先が器用だから手芸に力を入れているデイサービスを探しましょうか？」



メー太 「いいですね！賛成！眠気が覚めました！」

衣笠病院グループの通所サービス

長瀬デイサービス TEL: 046-843-3157 衣笠ろうけんデイケア TEL: 046-852-1185

訃報



むらたにちはな

当法人の室谷千英常務理事が2024年4月22日に86歳で召天されました。

室谷常務は明治学院文学部社会学科を卒業し神奈川県庁職員として、福祉部門からそのキャリアをスタートさせ、女性の社会参加や基地問題なども担当しながらキャリアを積み、1995年には神奈川県初の女性副知事に就任されました。

2009年から当法人第7代目理事長に就任され、様々の辛苦を乗り越えてきた豊富な体験を生かした法人最高責任者として、社会福祉法人の運営に使命感を持って、率先して取り組み、医療・福祉・介護の連携により地域包括ケアシステム推進に多大な貢献をしてくださりました。

誰でも分け隔てなく話を聴く常に公正な方でした。天での平安を祈ります。

(理事長 古屋 修身)



編集後記

早いものでもう6月、今年も半年が経とうとしています。ついこの間新年を迎えたばかりの気がしています。6月の花といえば、紫陽花(アジサイ)を思い浮かべます。紫陽花の色は土の成分を受け

て、紫色やピンク色に変化するそうです。花言葉は「和気あいあい」「家族」「団らん」で、小さな花が集まってにぎやかに咲く様子からだそうです。桜に比べて見頃の時期が長い紫陽花。憂鬱な長い梅雨の時期も、色鮮やかに咲いている紫陽花を見るととても元気になれる気がします。

(M.M.)

「衣笠」No.492

2024年6月1日発行
発行人 古屋 修身
発行 社会福祉法人
日本医療伝道会衣笠病院グループ
〒238-8588 横須賀市小矢部2-23-1
TEL. 046-852-1182 (代表)



郵便振替口座 00220-2-13963
編集 社会福祉法人日本医療伝道会
広報委員会

印刷 (株)ポートサイド印刷